

洛和会丸太町病院で筋前進併用鏡視下腱板修復術を受けられた患者さんへ

【研究課題】

筋前進併用鏡下腱板修復術における合併症予防の検討

1. 研究の対象

2021年4月1日から2022年3月31日と、2023年4月1日～2024年3月31日に筋前進併用鏡視下腱板修復術を受けられた患者さん

2. 研究目的・方法・研究期間

上記の期間に当院にて鏡視下腱板筋前進術をされた患者を対象に灌流液による術中の合併症予防について検討を行います。また、基本属性、栄養状態、手術時間、麻酔時間、灌流液使用量についても比較検討を行います。これらのデータは匿名化した状態で収集し分析を行います。

研究期間：承認日～2025年10月31日

この研究は医療法人社団洛和会 倫理委員会の承認を受け、洛和会丸太町病院病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究に用いる情報の種類

診療情報：年齢、性別、BMI、検査データ、手術時間、麻酔時間、灌流液使用量

(生年月日、カルテ番号、住所、氏名など個人を特定する情報は研究に用いません)

収集した情報は、解析する前に氏名・患者IDなどの個人情報を削除し新たな番号を付け、どなたのものかわからないようにします(匿名化)。匿名化した上で、パスワードロックを用いて情報を管理します。院外へのデータの持ち出しは行ないません。

4. 外部への情報提供

外部への情報提供は行いません

5. 研究機関名及び研究責任者氏名

研究機関：洛和会丸太町病院 手術センター

研究責任者：副主任 三ヶ月 三鈴

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問などがありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書および関連資料を閲覧できますのでお申し出下さい。

また、本研究のために研究対象となるご本人の情報を使用して欲しくない場合は、下記の問い合わせ先に 2025 年 9 月末までにご連絡ください。研究に参加頂けない場合でも、将来にわたってご家族の方々に不利益が生じることはありません。

ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただけるものとさせていただきます。

研究の成果は、研究対象者ご本人の氏名等の個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌で公表します。

収集した情報・データ等は厳重な管理のもと、研修終了後 5 年間保存されます。保存期間終了後には、記憶媒体内のデータを完全消去します。

この研究に関して、謝金は発生いたしません。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

研究責任者：三ヶ月 三鈴

〒604-8401 京都府京都市中京区聚楽廻松下町 9-7

洛和会丸太町病院 手術センター

電話：075-801-0351（代表）

e-mail：mikazuki-misuzu@rakuwa.or.jp